

トルコ印象記(その3)

さまざまの文明が栄えた地

トルコは古代からさまざま
な文明が栄えた地です。

トロイの遺跡など古代遺跡
が国のあちこちにありま
す。奇岩で有名なカッパドキア
(ギョレメ国立公園)や、
イスタンブールの歴史地域
などは世界遺産に指定され
ています。トルコ観光は最
近日本でも人気があります。

イスタンブールを訪
れたのは 六年の夏

わたしは〇六年の夏にア
ジア側からボスボラス海峡
にかかる橋をわたってイス
タンブールに入りました。
トプカプ宮殿や六世紀半ば
に建てられたアヤ・ソフィ
ア大聖堂、アフメット1世
が建てたブルー・モスク、



イスタンブールのグランバザール

イスラム世界で一番にぎや
かといわれるグランバザ
ールなどを見てまわりました。
イスタンブールでは市内
にトラムと呼ばれる電車が
走っているので移動には便
利でした。日本語話すカー
ペット売りにつかまり、し
つこく購入をせまられるの
には閉口しました。

アンカラのアナトリア
博物館は世界的に有名

首都のアンカラでは日本
人には(中国人も含めて)
めったにお目にかかるこ
とがありませんでした。アン
カラは中心部の旧市街地に
城跡があり、そのまわりに



アンカラ市街

古い家屋が軒をつらねて
います。雑多でまとまりのな
い街という印象でした。ア
ンカラでは知人の案内でア
ナトリア博物館とアナトリア

博物館をみてまわりました。

アナトリア博物館はヒッ
タイト時代の豊富な収蔵物
で世界的に知られている博
物館です。製鉄技術が普及
したのは紀元前一五世紀頃
のヒッタイトというのが定
説になっていますが、鉄の
利用自体はそれよりもはる
かに古い時代からはじまっ
ていたようです。ヒッタイ
トが滅びるまで鉄の製法は
秘密にされおり、当時の鉄

は黄金よりも価値があった
といえます。

トルコでも解決方向み
えないクルド人問題

アンカラには観光名所が
たくさんあるのではないかと
期待して行ったのですが、
主要な観光地は一日でみて
まわることができました。

市内の要所要所に軍人や
警官が目立つたので、一人
で出歩くことは極力さける
ことにしました。トルコ各
地でクルド人のテロ活動が
活発になっていたので、

クルド人は約三千万人が
トルコやイラン、イラクの
国境地帯で暮らしています。
彼らは自治権の拡大と独立
国家建設をめざして一部で
過激な行動にでています。

クルド人問題はトルコや
中東がかかえる民族問題の
一つですが、解決の方向は
いまだにみえてきません。

(もりとしあき)

続



サイエンティストの目

森 利明

(もり としあき)

大阪府立大学先端科学
イノベーションセンター